

社協だより



「令和6年度生活支援サポーター」 フォローアップ講座」を開催しました

これまでの養成講座を受講された生活支援サポーターを対象にフォローアップ講座を開催しました。総勢68名の参加者が集まり会場は笑い！笑い！！笑い！！の渦に包まれました。
詳しい内容は5ページをご覧ください。

赤い羽根共同募金



今年もやります！街頭募金活動！



支える人も
支える募金

今年もはじまりました！赤い羽根共同募金！

10月1日、日向市役所様、マルイチ財光寺店様、イオン日向店様にご協力いただき、運動開始啓発の街頭募金活動をさせていただきました。皆様より、たくさんの優しい笑顔と募金をいただきました。

今後も、各スーパー・店舗にご協力いただき、ボランティア団体の皆さんが街頭募金活動を実施予定です。「市民参画によるつながりを絶やさないための活動」の支援に努めてまいります。日向市で集まった募金は日向市のために使われます。戸別・法人・学校・職域、店舗募金など様々な形で、皆様のご協力よろしくお願いたします。



令和6年度歳末たすけあい助成事業のご案内

毎年、12月1日から12月31日までの1か月間は「歳末たすけあい運動」が展開されます。地域の皆様から寄せられた募金は、住民福祉の向上を目指し、住民の様々な福祉活動や地域住民・各団体が共同・協力して推進する地域の歳末たすけあい活動へ助成されます。

集まった募金の活用方法を審議する、審査委員会が開催され助成事業が決定します。日向市共同募金委員会では、次のとおり助成事業の募集を行います。

申請対象団体	(1) 日向市内の区・班（自治公民館） (2) 日向市内で活動する個人ボランティア、ボランティア団体 (3) 日向市内で活動する民生委員児童委員 (4) その他、日向市社会福祉協議会（以後、本会）が認める個人・団体
対象事業	令和6年12月1日から令和7年3月31日までの期間内に地域でおこなう住民福祉活動等 (例) 一人暮らし高齢者宅等へのおせち料理の配達、 高齢者・障がい者とのクリスマス会、 世代間交流（餅つき、しめ縄づくり、蕎麦打ち体験など）
助成額	助成額については、1団体（1区・班）・個人あたり20,000円を上限とする40団体までとなります
申請期間	令和6年10月11日（木）～ 令和6年11月8日（金）
申請手続きから決定までの流れ	所定の様式に必要事項を記入し、事務局へご提出ください。 その後、11月末の第2回審査委員会にて審査され、決定後、助成金交付となります。

※日向市社協のホームページにも要項を掲示しております。申請書様式をダウンロードできます。

じぶんの町に、困っている人がいる。その人たちが一番必要としているもの、それは人のチカラです。

手をとって、支えてくれる人の存在です。では、その活動資金は、どうしましょう。

赤い羽根共同募金は、困っている人を「支える人を支える募金」。それが、赤い羽根の役割なのです。

スマホからも
募金できます！



【問合せ先】 宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会（日向市社会福祉協議会内） 担当：田村

認知症啓発イベントを開催しました



国際アルツハイマー病協会（ADI）と世界保健機関（WHO）は、共同で毎年9月21日を「世界アルツハイマーデー」と制定しています。また、9月を「世界アルツハイマー月間」と定め、様々な取り組みを行っています。

日本では、認知症の人が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができるよう、認知症施策の総合的かつ計画的な推進を目的として、2024年1月1日に施行された「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」において、9月を「認知症月間」と定めています。

これに合わせて、本会でも認知症の正しい理解の促進、相談窓口の周知等を目的として、認知症啓発イベントを行いました。



日向市庁舎のオレンジライトアップ点灯式



東郷診療所での展示

今年度は、「日向市役所」「東郷診療所」「日向市総合福祉センター」において、日向市における認知症に関する取り組みをまとめた掲示物を設置し、啓発活動を行いました。また、9月13日から9月21日には、日向市・認知症の人と家族の会と連携し、日向市庁舎北側を認知症のシンボルカラーである「オレンジ色」にライトアップを行いました。

月間中は、「日向市総合福祉センター」、「コミュニティカフェひなた」に、認知症書籍を設置しました。



日向市役所での展示



日向市総合福祉センターでの書籍紹介



日向市総合福祉センターでの展示

コミュニティカフェから想いを込めて～爪楊枝入れ製作～



本会では、認知症の人やその家族が安心できる居場所づくりの取り組みとして、市内4か所でコミュニティカフェ（認知症カフェ）を開催しています。

「アルツハイマー月間」に伴い、カフェの参加者で「折り紙で作る楊枝入れ」を製作しました。完成した作品は、展示会場にて配布するとともに、「認知症の人にやさしい処方箋プロジェクト」「認知症の人にやさしい図書館」を設置している認知症書籍コーナーに展示しております。



本会では、コミュニティカフェ（認知症カフェ）や認知症サポーター養成講座の実施、認知症に関する書籍の貸し出しなどに取り組んでいます。認知症に関して気になることがあれば、お気軽にお問合せください。



担当：米良



日向市社会福祉協議会では、「住み慣れた地域で、いつまでも自分らしく暮らすことができる」よう、介護予防や高齢者の生きがいがづくり、閉じこもり防止の観点から、いきいき百歳体操の推進に取り組んでいます。

この冊子を通して各会場の取組みの様子を紹介することで、みんなが繋がり、百歳体操を楽しみながら継続する活力へと繋げることを目的に発行しています。

現在、日向市内の百歳体操会場も益々広がり、90会場となりました！！今後も各会場を順次ご紹介していきますので、どうぞご期待ください！

また、コロナ禍で活動の再開が難しくなってしまった会場や、自分の地区にも百歳体操を立ち上げたい等、百歳体操に関するご相談も受け付けておりますので、お気軽にお問合せください！



今号の表紙は日知屋圏域の「地藏区・八坂区・吉野川区」が合同で行っている会場です。

細島小学校内にある細島公民館にて毎週体操を行っていますが、取材時は細島小学校4年生が百歳体操に参加し、世代間交流を行っていました！

体操後に新しいダンスにも挑戦してみました！みなさんキレイの動きでビックリ！

さあ！今日も自転車こいで百歳体操ヘレッツゴー！！

担当：山本

被災地支援の経験を活かし、災害時に備える。

社協の役割

本会は、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる「ともに生きる豊かな地域社会」づくりを推進することを使命に、日々様々な事業に取り組んでおります。

発災時には、地域の復興に向けて活動するボランティアの方々の拠点となる「災害ボランティアセンター」を設置・運営するという役割があります。

また、本会は普段から配食サービスや訪問介護、金銭管理等の利用者の生活や命に関わるような重要な業務を担っており、被災した状況の中で、そういった業務を継続又は早期復旧させる必要があります。

災害対策研修会

本会では、9月24日に職員を対象とした「災害対策研修会」を開催しました。本研修は、能登半島地震の被災地派遣により現地で活動した職員が、被災地の状況を目の当たりにした中で、日向市においても災害時に備えておく必要があると改めて感じたことから、災害ボランティアセンターだけでなく、平時の事業の継続を考える第一歩として開催しました。

研修会の前半では、能登半島地震の被災地派遣として珠洲市災害ボランティアセンターで活動した2名の職員から被災地の状況や活動内容についての報告を行い、後半では、職員一人ひとりが被災時の業務の状況について想定し、平時から取り組めることについて考えるグループワークを実施しました。今後は、研修や訓練の機会を活用し、大規模災害の発生を視野に入れた災害ボランティアセンターの体制整備を進めていくとともに、被災時に重要な業務を継続していけるような法人としての体制整備に取り組んでいきます。



災害派遣報告



グループワーク

担当：藤田

「令和6年度生活支援サポーターフォローアップ講座」を開催しました



日向市では、誰もが安心して暮らすことのできるまちづくりを目指し、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築実現に向け、多方面から取り組んでいます。

今回は、これまで養成した生活支援サポーター自身が、いきいきと活動を行っていくことを目的に9月20日本会2階集会室において開催しました。68名の参加があり熱気あふれる会場となりました。

NPO法人日向の国笑いと癒しの研究所

理事長 小池光貴氏 による講話・実技指導

サポーター自身の心のケア

認知症予防についての講話と実技指導

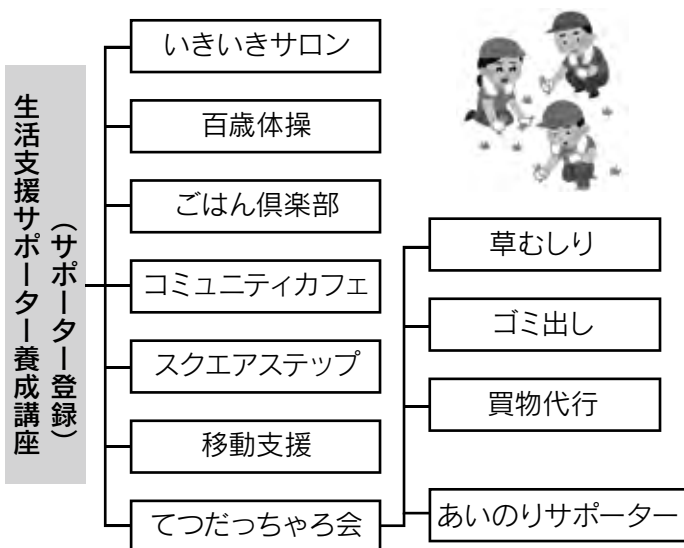
「NPO法人日向の国笑いと癒し研究所」より、小池光貴先生にお越しいただき、ご講話いただきました。今回の講座は「サポーターさん自身が元気で楽しく活動するために必要なこと」として、まずは自分自身が楽しむことが大事で、楽しむためには自分自身の体を一番に大切にしなければいけないし、その中でできることをやっていけばいいのではないかというお話がありました。後半からは、大きな円になり認知症予防のための手遊びやゲームで、会場が割れんばかりの笑いに包まれました。地区に持ち帰ってすぐにでもやってみたいという声があちらこちらで聞かれました。



【受講アンケートより】

- 久しぶりに大笑いしました。勉強にもなり、自分自身を見つめ直すきっかけにもなりました。
- 日常のさりげない動作を変えるだけで和やかな笑いに変われることに気づきました。地域の皆さんと一緒に認知症予防をしながら大笑いしたいです。
- 肩の力を抜いて楽しんでやっていたらとあらためて思える講座でした。

生活支援サポーター養成講座を受講し、登録されたサポーターさんの“活動の場”を紹介します。



これまで実施してきた養成講座により、現在日向市では224名の方が生活支援サポーターとして登録され、各地域で活動しています。本会では、登録後のサポーターが自身の好きなことや、やりたいこと等、無理のない範囲で活動できるよう活躍の場づくりとサポートを行っています。

気になる活動等ありましたら、お気軽にご連絡ください。

担当：富山

福祉のしごとと就職フェア ひゅうが

日向市及び東臼杵郡内の福祉事業所が参加する就職フェアを開催します。事業所ごとのブースにて仕事の内容や職場の雰囲気、採用情報などについて説明・相談を行います。また、仕事や資格に関する相談コーナーを設置します。ぜひ、ご参加ください。

【開催日】 11月29日(金)

【時間】 午後1時30分～午後4時 [受付]午後1時～

【場所】 ホテルベルフォート日向

【対象】 福祉関係事業所への就職を希望する方、学生等、どなたでも参加できます。

【参加費】 無料

【その他】 履歴書や予約は必要ありません。服装は自由です。

【問合せ】 宮崎県福祉人材センター Tel:0985-32-9740



詳しくはこちらのホームページをご覧ください

<https://www.mkensha.or.jp>

福祉のしごと 就職フェア

検索



スマートフォンの方はこちらから ▶

目指せ福祉専門職!!

未来を担う学生の実習受け入れを行いました
～ ソーシャルワーク実習報告 ～

本会では、8月16日(金)～9月20日(金)の期間、社会福祉士(ソーシャルワーカー)の資格取得を目指す実習生の受け入れを行いました。

今年度は九州医療科学大学から1名の実習生が本会にて、社会福祉に関する実習を行いました。

実習を終えた学生のコメントを紹介します。

24日間のソーシャルワーク実習をさせていただきました九州医療科学大学臨床心理学部三年生の佐伯亮弥と申します。

日向市社会福祉協議会で実習をさせていただき、学校の座学で得た言葉としての知識が、実践の場面ではどの場面がその言葉にあたるのかまた、ソーシャルワーカーのスキルを実践者がどう発揮しているのか、知識と実践の場面を結びつけ、理解を深められました。

また実習後半では実際にアセスメントを行い、個人と地域の支援計画を作成させていただきました。実習生ながら一人の実践者として、ソーシャルワークの展開を組み立て、その中でソーシャルワークスキルを使用しクライアントや社協職員の方々など専門職と関わらせていただきました。その中で、ソーシャルワーカーとして必要な人を巻き込む力、言語化し伝える力、実践までの詳細な計画設定、新しい事を始める事の難しさなど自身に足りない課題点や困難も見つけることができました。

実習を受け入れてくださった、日々のお忙しい業務の中でも対応してくださった日向市社会福祉協議会の皆様、24日間ありがとうございました。

支援計画で提案させていただいた「大学生を活用した移動支援」を実現する為に、今私は学年、学科を超えて学生を集め、活動しようとしています。実習は終了してしまいましたが、今後はこの提案の実現に向け日向市社会福祉協議会の皆様と協働させていただきたいです。今後もよろしくお願いいたします。改めまして、24日間ありがとうございました。



九州医療科学大学
臨床心理学部 3年

佐伯 亮弥 さん

じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

ひちやじどうせんたー
日知屋児童センター ☎：52-8443

11月9日(土)

『赤い羽根共同募金 街頭募金活動』(小)

☆みんなの優しさが、たくさんの人を笑顔にするよ！

☎時 間：10：00～12：00

☎場 所：イオン日向店

☎定 員：20名

※集合・解散は日知屋児童センターです。



11月16日(土)

『チャレンジ・ザ・ゲーム』(小)

☆いろいろなゲームがあるよ！

みんなで楽しく遊ぼうね♪

☎時 間：

14：00～15：30

☎定 員：30名



12月11日(水)

『クリスマス会』(幼)

☆親子で楽しいクリスマス会をしましょう♪

☎時 間：10：30～11：30

☎定 員：15組



12月14日(土)

『クリスマス会・子ども忘年会』(全)

☆みんな楽しみクリスマス会と子ども忘年会をするよ！
 みんなぜひ参加してね！

☎時 間：10：30～11：30

☎定 員：なし



だいおうだにじどうかん
大王谷児童館 ☎：66-1177

11月6日(水)

『親子でリズム遊び♪』(幼)

☆リトミック教室の先生と心地よいリズム遊びを
 楽しみましょう♪

☎時 間：10：30～11：30

☎定 員：15組

※0歳児から参加可能です！



12月18日(水)

『クリスマス会』(幼)

☆ドキドキ・ワクワクのクリスマス！

今年もサンタさんに会えるかな？！

☎時 間：10：30～11：30

☎定 員：15組



12月21日(土)

『クリスマス会』(小)

☆児童館でゲームを楽しんで、素敵なプレゼントもらっちゃおう♪

☎時 間：

14：00～15：30

☎定 員：30名



11月30日(土)

『フラワーアレンジメント』(小・中・高)

☆お花屋さんから教えてもらいながら、
 心を込めてお花を活けてみましょう！

☎時 間：15：00～16：00

☎定 員：30名



行事はいつでも無料で参加できますが、必ず事前
 にお問合せください。
 定員になり次第締め切りとさせていただきます。

※対象者の表記について

- ・幼・・・幼児親子
- ・小・・・小学生
- ・中・・・中学生
- ・高・・・高校生
- ・全・・・幼児親子、小学生、中学生、高校生

Instagramで
 情報発信しています♪



HICHIYA_JIDOU

DAIYOU_JIDOU

～“もったいない”を“ありがとう”へ～

株式会社ダイナム様より



食糧品や日用品の寄贈がありました。



株式会社ダイナム様より本会が実施する食糧支援事業(フードバンク)に、食糧品や日用品等を寄贈いただきました。



株式会社ダイナム様は、「被災地でのボランティア活動」「義援金活動」「物資支援」等での災害支援活動や地域でのイベント協力、美化活動・寄贈・寄付活動など地域に根差した活動を長期にわたり継続しています。

頂いた物資は、相談援助を通して支援を必要とする世帯や学習支援等の利用者に提供させていただきます。皆さまの温かいご支援に、心より感謝申し上げます。(担当：吉田)

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略

令和6年8月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
植野 榮子	植野 幸雄	寺 迫
長曾我部 正利	長曾我部タカ子	西 川 内
小 出 智 子	小 出 良 和	曾 根
渦 尾 文 輝	渦 尾 タツエ	鶴 野 内
森 田 好 子	森 田 金 一	切 島 山 1
中 瀬 まき糸	中 瀬 三千雄	切 島 山 2
田 原 重 義	田 原 八重子	春 原
森 川 義 勝	森 川 正 代	庄 手
前 川 浩 規	前 川 マスミ	仲 深

〈一般寄付金〉敬称略

令和6年8月分

氏 名	金 額
三 浦 勝 始	金一封
岩 倉 浩 俊	527円

〈香典返し〉敬称略

令和6年9月分

喪主(または寄付者)	故人	地区
成 合 三保子	甲 斐 シ ズ	大 王 谷
大 津 紀 乃	大 津 武 士	花 ケ 丘
直 野 岩 生	直 野 ツヤ子	福 瀬
児 玉 真 澄	児 玉 賢	曙
佐 藤 昭 利	佐 藤 武 男	日 向 台
甲 斐 隆 一	甲 斐 あきほ	中 原
安 土 弘 明	安 土 文 子	八 幡
赤 木 恵美子	赤 木 サツコ	幸 脇
東 村 和 美	東 村 吉 市	小 野 田

〈物品寄贈寄付者〉敬称略

令和6年9月分

氏 名	物 品
宮崎県済生会訪問看護 ステーションなでしこ日向	紙おむつ

〔発行者〕



社会福祉法人

日向市社会福祉協議会

〔日向市生活相談・支援センター心から〕
〔日向市ボランティア・市民活動センター〕

〔日向本所〕

〒883-0034 日向市大字富高207-3

日向市総合福祉センター

TEL(0982)52-2572/FAX(0982)52-9562

ホームページアドレス <http://hyuga-shakyo.or.jp/>

〔東郷支所〕

〒883-0102 日向市東郷町山陰丙1265-2

日向市東郷地区総合福祉センター

TEL(0982)69-2116/FAX(0982)69-2274

Eメールアドレス hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。奇数月に発行。



この情報紙は再生紙を利用しています。

印刷所 有限会社 第一印刷